

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2023/4/12
所属学部・研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	カセサート大学							
留学先所属学部等	Software and Knowledge Engineering Program, Department of Computer Engineering, Faculty of Engineering							
留学期間	出発日	2022/7/27	入学日	2022/8/8	修了日	2022/12/19	帰国日	2023/1/10
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()					
	通学時間	15分				On campus		
	通学方法	(無料バス or バイクタクシー) + 徒歩						
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊	0 %	学食	40 %	外食	60 %	その他	() %
保険	海外旅行保険(名称)	JTBトータルサポートプログラムH						
	留学先国・大学指定の保険(名称)							加入必須
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄				バンコク(飛行機)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	65万 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/>	アルバイト	100,000 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	200,000 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	350,000 円	<input type="checkbox"/>	その他名称()		<input type="checkbox"/>		円
その他	<input type="checkbox"/>	その他()							円

2-1. お金の管理方法

渡航時	✓	現金	70,000 円	その他()	円
留学中		海外送金	キャッシング	その他 (デビットカード/デビットカードによる現金引き落とし)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	現金
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位	パーツ		
渡航費(往復)			120,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			89,740	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			16,600 (9,000円+延長 7,600円)	円
住居		18,000	72,000	円
光熱費			18,000	円
食費			100,000	円
通学に要する交通費			2,500	円
教科書, 教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円
その他 (PCの周辺機器)		15,000	6,000	円
その他 (日用品)			50,000	円
その他 (旅行・娯楽)			80,000	円
その他 (各種ワクチン)			100,000	円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ex. 正規, 聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無		
			✓	有	無
1 Computer Programming I Lecture	正規	3	✓	有	無
2 Computer Programming I Laboratory	正規	1	✓	有	無
3 Discrete Mathematics and Linear Algebra	正規	4	✓	有	無
4 Computer and Programming	正規	3	✓	有	無
5				有	無

3-1. 授業科目の選択, 登録方法

登録フォームに希望する科目を記入し、アドバイザーにサインをもらって留学生課にメールで送信した。登録取り消しには、担当教員のサインが必要だったが、これもまたメールで送った。

3-2. 授業内容, 方法に関して

Pythonによるプログラミングとデータに関する基礎理論を学んだ。プログラミングの授業は、レクチャーとラボに分かれており、毎週課題が出た。週末全部使いきってようやく終わるような重さであることが多かった。

3-3. 語学力について

もともと英語力向上をメインの目的とはしていないため承知の上だが、格段に向上したとはいええない。全授業が英語で展開されていても、私以外は全員タイの学生であり、英語で話しかけても上手く受け答えができない学生も少なくなかった。ただ、完璧でなくとも以前よりも積極的に英語で会話できるようになった気がする。

街中では、思っていたよりも英語が通じないので、生活に必要なタイ語は少しずつ身につけていった。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は、千葉大学のオンライン授業を受けたり、自習したりするために利用した。冷房の効きが良すぎて寒い場所が多かった。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

寮は少し古く、特別綺麗というわけではないが、大きな問題なく生活することができた。5か月中4か月はルームメイトと2人暮らしをしていた。当たり前ではあるが、洗面所など共有スペースを利用した後は必ず綺麗にするように心掛けた。暇な方が先にシャワーを浴びて、相手をなるべく待たせないように気づかった。生活リズムの違いから、相手に迷惑をかけることもあると気づいた。一方が夜遅くまで課題をやっているときには、電気を一部消してもう一方が寝られるようにした。私は明るくても寝つきが良い方だが、ルームメイトはそうではないらしく、申し訳ない気持ちになった。私は朝型、ルームメイトは夜型なので、私が朝早く起きて支度しているときに睡眠の邪魔をしてしまうこともあったかと思う。ただ、総じてルームメイトがいて良かったと思う。他人と暮らすうえで必要なことを学びながら、一緒に出掛けたり食事をしたり、楽しいことを共有することができた。

4-2. 食生活について

共有キッチンはあるものの、近所の屋台や学食で食べてしまった方が楽で安上がりなので自炊は全くしなかった。ショッピングモールのレストランなどは日本と同じかそれよりも高いこともしばしばであった。思ったよりも料理に含まれる野菜が少ないので、初めの2週間は体調が優れなかったが、その後身体が適応した。ビタミン摂取や便秘解消のサプリがセブンイレブンで160円くらいで売られているので、試してみたら結構よかった。

4-3. インターネット環境, 携帯電話について

携帯電話のためには、国内最大手キャリアAISの6か月プランのSIMカード(3,600円くらい)を購入した。毎月100GBのデータ通信と60分の通話が無料なのでかなり余裕があった。寮や大学では、(たまに接続が不安定になるが)Wi-Fiが利用可能だった。

4-4. 服装について

制服を着用した。ベルト、ボタン、ピンバッチ、シャツ、スカートなど大学生協か制服屋さんで購入可能。

4-5. 健康管理について

室内では冷房が効きすぎていることが多いので薄手（場合によっては厚手）の羽織を着用した。
課題の提出日や試験日が迫っている場合以外は早寝早起きを心掛け、散歩や水泳などの運動をした。
風邪を引いた際には、日本から持ってきた風邪薬があまり効かなかったため、よく寝て果物とトムヤムを大量摂取し、無理やり治した。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

皮膚が荒れた際に病院に行き、塗り薬を処方してもらった。トータルサポートの対象病院だったので、保険証明書を提示するだけで対応してもらえた。

4-7. 課外活動について

留学生向けアイスブレイキングイベントに参加したことくらい。
学部の勉強で忙しく、それどころではなかった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

4-9. 日本から持参してよかったもの

洗濯ネット・突っ張り棒・ピンチ付き洗濯物干しなどの洗濯グッズ（現地でも購入可能）、腕時計、モバイルバッテリー、ジップロック、歯ブラシ（現地の商品はヘッドが大きすぎて合わない）、粉末緑茶、爪切り、はさみ、水泳用ゴーグル、水着、日本のチョコレート（溶けにくいコーティングがしてあるもの。現地ではウエハースなどが混ざっているものばかりなので、何も混ざっていないチョコレートが恋しくなる。）

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

粉末洗剤、大量のマスク

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

ぼったくられるようなトラブルが複数あった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【チェンマイ旅行】

●期間：22年12月30日～1月7日（七泊九日）

●費用：

その他 *気分転換やストレス発散法など。

甘くて脂っこいタイのスイーツを食べる。マーケットまで散歩しに行く。YouTubeでタイドラマを観る。キャンパス内のプールで泳ぐ。

5. その他

5-1. 留学先大学について

キャンパスが広く移動に時間がかかった。ウォーターサーバーがあったので水筒があるとよい。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

留学先で学ぶことについて千葉大学や留学先大学の教員に相談しておくといふと思う。

5-3. 留学を終えて

留学中に学んだことをもとに今後も勉強を続けてゆく。卒業研究の中で、実験結果の分析にプログラミングを活用する予定である。IT企業への就職を希望しており、就職後も会社のサポートを受けながら自己研鑽に努めたい。